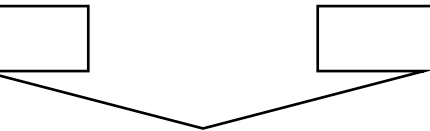


令和 3 年度授業改善推進プラン【理科】

《 各学年の特徴 》

- 3 年 植物や昆虫に興味をもち観察を行い、実験にも意欲的に取り組む児童が多い。
- 4 年 観察・実験に興味・関心をもち、意欲的に取り組む児童が多い。
根拠をもって考察を導くことができる児童が多い。
- 5 年 観察や実験に興味をもって取り組む児童が多い。
予想を立てたり、考察を導いたりすることに意欲的である。
- 6 年 既習事項や生活経験を基にして、見通しを立てて学習に取り組む児童が多い。
自然事象に興味をもち、主体的に観察や実験に取り組む児童が多い。



《 課題となる育てたい力 》

- 3 年 自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見出す力。
主体的に問題解決しようとする力。
- 4 年 問題に対して予想を立て、予想にあった実験や観察の仕方を考え、実験や観察の結果から考えたことをまとめる力。
- 5 年 安全な器具の使い方を理解し、既習の知識や技能を活用しながら、問題解決を図る力。
複数の実験結果を的確に読み取り、推論し、結論を導く力。
- 6 年 得られた結論を他のものや事象に当てはめたり、予想や実験方法を振り返ったりして考察する力。

☆授業改善の具体策☆

《授業全体に関わる事項》

- ・安全指導の徹底 ・専科教員による指導および支援員を加えた授業の実施 ・環境の整備
- ・観察・実験の結果を整理し、その結果を基に考察し、レポートする活動の実施
- ・見通しをもった観察・実験の実施
- ・自分の言葉でまとめ、伝えることによりお互いの考えを深め考察する学習の充実

《知識・技能》

- 3 年 安全やきまりを守るよう指導した上で観察・実験をさせ、結果の比較や生活経験との結び付けを行い、知識の定着を図る。
- 4 年 観察の視点や実験の方法、器具の正しい使い方を明確に指示し、身に付けさせるとともに、体験的な学習や ICT を用いた映像資料等を活用して実感を伴った理解につなげる。
- 5 年 安全な器具の使い方を周知徹底し、実験方法や観察の視点を明確にした上で、繰り返し実験や観察の機会を設定し、自然現象や物の変化について理解させる。
- 6 年 安全な器具の使い方を周知徹底し、実験方法や観察の視点を明確にした上で、繰り返し実験や観察の機会を設定し、考察をまとめ、文章に表す時間を設ける。ICT を用いて、映像資料等で理解を深めたり調べ学習を行ったりさせる。

《思考・判断・表現》

- 3 年 自然事象のきまりに気付けるように、自分自身で予想を立て、簡単な比較、観察や実験をさせる。観察・実験の結果から考えたことを書き、共有する機会を設ける。
- 4 年 生活経験を基に、根拠をもった予想を立てて観察・実験に取り組ませるようにする。観察・実験の結果から考えたことを書き、共有する機会を設ける。
- 5 年 既習事項を活用して仮説を立てさせたり、導いた結論から帰納的に考え、一般化を図らせたりする。
- 6 年 既習事項を活用して仮説を立てさせる。導いた結論から帰納的に考え、一般化を図らせたり、仮説や実験方法などの見直しをさせたりする。

《主体的に学習に取り組む態度》

- 3 年 自然事象へ興味・関心をもち、主体的に問いをもてるよう、植物、動物の飼育・栽培、観察を行う。
- 4 年 自然や科学的事象への興味・関心をもちて問いを作ったり、学んだことがどのようなことに役立つか身の回りの生活と関連付けて考えさせたりする。
- 5 年 興味・関心を高める問題提示と仮説設定から結論まで問題解決全体への見通しをもたせる。
- 6 年 問題解決全体への見通しをもたせ、振り返りを活用して連続して問題解決を図らせる。